

あゆみ保育園

日時：2015年2月12日（木）13:30-17:00

2015年2月18日（水）9:10-16:00

場所：草津市平井2-13-3

草津駅から近い都市部の保育園ですが、徒歩5分の所に、熊野神社の森があります。今回はその社寺林を活用してプログラムを実施しました。

（対象：5歳児 計55名）

1日目は講座、下見とプログラムづくり、2日目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治（しまっち）さん

地面の土を見てみよう！

足元の土は何からできているのでしょうか？
葉っぱの下の世界を考えてみましょう。

- ① ふかふかしている感触を楽しみましょう。
- ② 土の臭いをかいでみましょう。
- ③ 土を細かくして、ルーペで覗いてみましょう。葉っぱが細かくなっている様子を観察しましょう。

葉っぱが分解されて、土となり、栄養として木に吸収されて、再び木の葉っぱとなります。

「自然の循環」が理解できます。



土を触ってみましょう。臭いもかいでみましょう。どんな臭いがしますか？

ルーペで観察してみましょう。葉っぱが細かくなっているのが分かりますよ。



いざ！忍者修行に出発だ！！

画用紙のハチマキに、好きな葉っぱを貼りつけて、忍者に変身した子ども達。4つの修行に出発しました。枯れ葉の上を静かに歩く「忍び足の術」、木にぶら下がる「ぶらさがりの術」、マントを着けて飛び越える「モモンガの術」、ケンケンで山を登る「フラミンゴの術」の修行ごとにハチマキに葉っぱを貼りつけていきます。最後は、竹やぶのスズランテープを避けて進む「クモの巣くぐりの術」を達成して、寒い冬を忘れて、修行を楽しむ子ども達でした。



忍者からの巻物だ！
1. 遠くにかかないように
2. 鈴の音がなったら集まろう
3. 仲良く遊びましょう。

「ぶらさがりの術」に挑戦
♪げんこつ山のタヌキさんの歌の間、ぶらさってられるかな？



「モモンガの術」に挑戦
マントを着けて、溝を飛び越えられるかな？こけても溝は葉っぱでふかふかだ！



「クモの巣くぐりの術」に挑戦
くぐったり、乗り越えたり、引っかからずに来れるかな？



森の音楽会をひらこう！

ドングリ、葉っぱ、枝を拾ってジャンケンごっこ。次は長い枝を見つけて比べっこをしました。自然物に触れ親しんだ子ども達は、森の自然物で楽器を作りました。ドングリや小石、スギ・ヒノキの実などをペットボトルに入れて振ったり、枝を打ち鳴らしたりして演奏会をしました。

葉っぱは「パー」ドングリは「グー」枝は「チョキ」



「はっぱーぱー」でジャンケン！



みんなの枝をお空へ伸ばしてみよう！すごい長い枝を拾ってきたね。



木の音を聴いてみよう。「川の音がする」「サワサワしている」「雨の音が聞こえる」



寒い時は、みんなで集まってぎゅーとすると、あったかくなるよ

森の音楽会。「おもちゃのチャチャチャ」を歌いながら、木の枝、ドングリマラカスで音を鳴らそう



プログラムを終えてのふりかえりから

- 普段は0歳児を担当しているが、散歩などで葉っぱなどから遊びや発見を提供して、自然遊びを楽しめる保育をしていきたい。
- これまでは自然というと、散歩やドングリ拾いだけであった。研修を通して五感で感じたり、遊びをする機会の大切さを知った。
- 自園では、自然がなく神社しかないと思い込み、神社でやっている活動では自然と触れ合えていなかった。今回の学びを元に子ども達に伝えられたらと思う。
- 自園では、カッパを着て出かけることがあったが、寒さで出かけることも多い。保育者がやる気を出して出かけることが必要と感じた。今回のように雨の感触を楽しめるようにしたい。
- 担任として見ている子ども達が、普段と違う表情を見せていた。いつもと違う自然や人と関わることがいい機会であった。卒園前の良い思い出となっただろう。